# ■宮上中学校区 B-2 【理想の暮らしとありたい姿】



## 雇用・産業

- 【イノベーターとして起業を考える学生】起業者のコミュニティハブとなる拠点や組織がある
- 【イノベーターとして起業を考える学生】起業サポート・投資・税制優遇がある特区
- 【イノベーターとして起業を考える学生】留学生や社会人も在学する開かれた大学・研究機関
- 産学共同でグローバルに適用するローカル産業がある

●学校に関わる全ての人(親・地域の人等)に雇用支援・福祉支援を行える体制

## 世代交流

- 【退職後のシニア】地域の学校や地域企業の活動に参加できる
- 子どもから若者高齢者までが会話できる場所・機会がある。地域コミュニティができる場所がある
- シニアがいつでも社会活動に参加できる
- 気軽に、頻繁に近所の人と交流する場がある
- 街のあちこちに幼児の子からシニアのグループが輪番でケアする花壇やサインボード

## 交流

- 明るい町笑るい町である
- 人情味のある街である
- スクールコミュニティ
- 店に行けなくても宅配一歩手前の配達システム
- スマホのようなデバイスで生活ニーズの発信・受信ができる

## 国際交流

- 【学生】地方や海外の高校との学位交換ネット留学ができる学校

●学校単位での地域イベントの開催
様々な住民との交流を増やす

## 〈全ての人に開かれた学校〉

**宮上地区中学校を拠点にしていこう**

## 生活支援

- 【共働き家庭】家事のサポートサービスが安価に提供（シニアの就労支援）
- 【地方からの学生や留学生】低価格で生活できる支援、住居がある
- 【1人暮らしの高齢者】身の回りのお手伝いをしてくれる介護ロボット

●学校内に生活支援センターを設置

●中学校単位で地域連携することで、
支援が必要な家庭が明らかになりやすい

## 子育て

- 両親共働きの小学生女子ひとみしり
- 集会所にデリカ（惣菜）キャラバンが来る
- 【子育て中の母親】安心できる保育が提供されている
- 全子育て世代が安心できる保育サービスを利用可能

●子どもには
社会教育も行う

## 移動

- 遊歩道のタクシー
- 自動運転の移動支援システム
- 誰もが気軽に利用できる交通手段(コミュニティバス)などがある
- いつでも自動運転の車が送迎してくれる

## 建物

- 街路灯が多い明るいまち
- 楽しく遊べる公園広場がある
- 適切な住環境が保護されている
- 【保護者】学校がバリアフリーになっている
- 天災や災害があっても安心の地下の町がある

## 場所

- 【子ども】近くに自然がいっぱいの公園や、広い運動場がある
- 【学生】便利な施設や地域内に高校がある
- 【労働者】身近に勤務先仕事ができる
- 子どもが安全に遊べる場所がある
- 【子どもや女性】明るく、安心、安全に通勤・登校ができる

●安心・安全のための環境整備

## キーワード

「学校は先生と子どもだけのものでなく、地域のもの」

- ●中学校を拠点とした地域のためのネットワークづくり
- ●障害者、高齢者(要支援者)にやさしい街づくりが、誰もが住みやすい街づくりにつながる（特に、「防災」「交流」「雇用」において）
- ●文教地区という特性を生かして、教育・雇用に力を入れることで、若者や学生の流出をふせぐ